

審査案件の概要(令和4年度(2022.4月～2023.3月))

※学会発表日程については、申請時の予定

受付番号	承認日	審査方法	区分	申請事項	申請者		概 要
					職	氏名	
2022 - 01	2022/4/18	迅速審査	医療行為	抗MDA-5抗体陽性皮膚筋炎に併発する間質性肺炎に対する血漿交換療法	リウマチ科部長	吉原 良祐	抗MDA-5抗体陽性皮膚筋炎に併発する間質性肺炎の標準療法である、高用量プレドニゾン、タクロリムス、シクロフォスファミド点滴静注の3者併用療法に、血漿交換(PE)を併用する治療を行う。
2022 - 02	2022/4/18	迅速審査	医学研究	熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査(Heatstroke STUDY、日本救急医学会熱中症に関する委員会主管)への参加について	救命救急センター長	佐野 秀	熱中症の原因や病態の解明及び治療や予後の実情を把握し、発生の予防に向けたアプローチを検討するため、日本救急医学会熱中症に関する委員会が研究を主管する熱中症の全国規模の実態調査に参加する。
2022 - 03	2022/4/18	迅速審査	医学研究	既存治療により十分な維持療法を継続しているが内視鏡的活動性が残存する潰瘍性大腸炎に対するベドリスマブによる治療介入の意義についての多施設共同非ランダム化群間比較試験	消化器内科部長	埜本 喜雄	腹痛、血便、下痢といった腹部症状はないか軽度であるものの中程度以上の内視鏡的活動性を有する潰瘍性大腸炎に対してベドリスマブで内視鏡的寛解を目標に治療介入することの長期予後に与える影響について前向きに検討する。
2022 - 04	2022/4/25	迅速審査	医学研究	高齢者におけるJAK阻害薬投与時の併用MTX用量についての検討	リウマチ科部長	村田 美紀	第66回日本リウマチ学会にて発表予定(2022年4月26日) JAF阻害薬適性使用ガイドラインでは、MTX8mg/週を超えて投与している症例が対象として推奨されているが、実臨床においては、高齢者のMTXは低用量の傾向にある。高齢者で安全にJAF阻害薬を継続する条件を考える目的で行った調査について報告する。
2022 - 05	2022/4/25	迅速審査	医療行為	腹腔神経叢ブロックにおける無水エタノールの使用許可願	副院長兼緩和ケア内科部長	酒井 英郎	緩和ケア病棟入院中の患者に対する、強い腹痛症状の緩和目的で行う腹腔神経叢ブロックに使用する無水エタノールの適用外使用を行う。
2022 - 06	2022/5/12	迅速審査	医学研究	2型糖尿病患者の自尊感情低下に対する熟練看護師の看護実践	看護部主任	三船 恵里	日本糖尿病教育・看護学会にて発表予定(2022年9月17日、18日) 2型糖尿病患者の自尊感情低下に対する熟練看護師の看護実践を、慢性疾患看護専門看護師に半構成的面接法によるインタビューを行い、看護実践に関する文脈を抽出、集約した内容を考察し報告する。
2022 - 07	2022/5/13	迅速審査	医学研究	COVID-19感染症拠点病院における、脳卒中を合併した症例の後方視的検討	脳神経外科部長	荒井 篤	学術誌「脳卒中」に原著論文を投稿予定 COVID-19は脳卒中と関連するとされるが、今回、COVID-19に脳卒中を合併した症例とその他の症例を比較し、脳卒中発症の危険因子を検討し投稿する。
2022 - 08	2022/6/7	迅速審査	医学研究	重症COVID-19感染者の二次細菌感染とde-escalation	薬剤部職員	田中 拓可	日本感染症学会西日本地方会学術集会にて発表予定(2022年11月3日～5日) 抗菌薬適正使用支援チームでは、患者に対して抗菌薬のde-escalation及び中止を含めた介入を行っている。抗菌薬適正使用プログラムでは原因微生物同定後の抗菌薬のde-escalationの重要性が強調されているが、今回、当院でのCOVID-19患者におけるde-escalationの遂行率と二次細菌感染発症28日後の死亡率について調査し報告する。
2022 - 09	2022/6/3	迅速審査	医学研究	GLP-1受容体作動薬の変更による血糖コントロール等の変化についての検討	糖尿病・内分泌科専攻医	西山 信晴	第59回日本糖尿病学会近畿地方会にて発表予定(2022年11月5日) 第32回臨床内分泌代謝updateにて発表予定(2022年11月11～12日) 2021年3月から2022年5月に当院で週1回型GLP-1受容体作動薬セマグルチドからデュエラチド、または経口セマグルチド、またはリダグルチドに変更された症例についてその後のHbA1cの変化などを後ろ向きに検討し報告する。
2022 - 10	2022/6/3	迅速審査	医学研究	COVID-19へのデキサメタゾン投与による血糖上昇に対する当院での取り組みとSGLT-2阻害薬の有効性の検討	糖尿病・内分泌内科専攻医	大西 佑弥	第59回日本糖尿病学会近畿地方会にて発表予定(2022年11月5日) COVID-19中等症にはデキサメタゾン(DEX)を使用する。当院ではDEXに伴う血糖上昇をisCGMで確認し、中間型インスリン(N)と速効型インスリン(R)の併用1回投与で対応してきた。今回SGL-2阻害薬追加の血糖改善効果について検討し報告する。
2022 - 11	2022/6/3	迅速審査	医学研究	我が国における1型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究	糖尿病・内分泌内科部長	飯田 啓二	1型糖尿病をレジストリーするシステムを構築し、その診療実態を明らかにして、診療の質の向上を目指す。
2022 - 12	2022/7/7	迅速審査	医学研究	刑務所におけるHIVスクリーニング検査の意義	感染症内科医師	岩田 健太郎	第36回日本エイズ学会学術集会・総会にて発表予定(2022年11月18～20日) 日本の刑務所ではルーチンでのHIV検査は制度化されていない。兵庫県の刑務所Aで受刑者のHIV検査が行われるようになった。この検査情報と検査陽性率を検討し、その結果を報告する。
2022 - 13	採番後、取り下げられたため欠番						

審査案件の概要(令和4年度(2022.4月～2023.3月))

※学会発表日程については、申請時の予定

受付番号	承認日	審査方法	区分	申請事項	申請者		概 要
					職	氏名	
2022 - 14	2022/6/22	委員長評定	医療行為	悪性インスリノーマに対する第2世代ソマトスタチンアナログ(パシレオチド)の患者限定使用について	糖尿病・内分泌内科部長	飯田 啓二	悪性インスリノーマの本症例に対し、オクトレオチド徐放剤、ランレチオチド徐放剤を使用してきたが、効果が乏しくなり低血糖を制御しがたい状況で、早急な対応が必要である。他の治療法がなく使用しないと確実に死に至る状況であるため、保険適用はないが、ソマトスタチンアナログ(パシレオチド)を悪性インスリノーマ症例
2022 - 15	2022/8/2	迅速審査	医学研究	肝生検を施行された非アルコール性脂肪肝炎患者の背景代謝性疾患と繊維化に関する検討	副院長兼消化器内科部長	尹 聖哲	日本肝臓学会東部会にて発表予定(2022年11月25日) 2021年のNASH/NAFLDの診療ガイドでかかりつけ医からの拾い上げの方法が示されたが、かかりつけ医が非専門医である場合、消化器専門医への紹介のタイミングが遅れている可能性がある。その原因を明らかにするため、照会までの経過及び患者背景と肝線維化との関連を後ろ向きに検討し報告する。
2022 - 16	2022/8/2	迅速審査	医学研究	当院におけるバンコマイシンとタゾバクタム・ピペラシリン配合剤の併用による急性腎障害発生について	薬剤部職員	中村 亮博	日本病院薬剤師会近畿学術大会にて発表予定(2023年2月4～5日) 当院におけるバンコマイシン(VCM)とタゾバクタム・ピペラシリン配合剤(TAZ/PIPC)併用による急性腎障害発生の現状を後方視的に調査し、今後薬剤師による薬剤変更などの積極的な介入を進めていく必要があるかを検討し報告す
2022 - 17	2022/8/18	迅速審査	医学研究	新型コロナウイルス感染症拠点病院におけるリハビリテーション部の現状と取り組み	リハビリテーション部職員	齋木 宏之	第62回近畿理学療法学術大会にて発表予定(2023年2月5日) 当院は兵庫県全域に対応する新型コロナウイルス感染症拠点病院と位置づけられ患者の受入を行っており、リハビリテーション部は2020年5月からチームを立ち上げ介入を行っている。体制整備の見直しや業務の効率化など、リハビリテーション部の取組みを報告する。
2022 - 18	2022/8/18	迅速審査	医学研究	転移性去勢抵抗性前立腺癌に対するアバルタミドの有効性・安全性の評価を目的とした多施設共同単群試験	院長(泌尿器科)	田中 宏和	日本人の転移性去勢抵抗性前立腺癌に対するアバルタミド(アーリーダ)による治療効果と安全性の検討を、神戸大学医学部付属病院及び関連病院による共同研究として行う。
2022 - 19	2022/8/25	委員長評定	医療行為	消化管出血に対するイミペネム・シラスタチンを用いた経カテーテル動脈塞栓術	放射線科・IVR科部長	伊崎 健太	現在、Felty症候群にてリウマチ科ICU入院中の患者について、血圧低下と大量下血があった。次回の大量出血時には血管造影や小腸内視鏡が予定されている。イミペネム・シラスタチン(IPM/CS)は本来抗生剤であるが、消化管出血に対する動脈塞栓術の有用性や安全性が示されており、当該患者においてマイクロコイルやゼラチンスポンジ、ヒストアクリルなどを用いた選択的塞栓が困難な場合のIPM/CSの使用について承認いただきたい。
2022 - 20	2022/9/16	迅速審査	医学研究	糖尿病教室でのクイズ導入による理解度向上への取り組み	薬剤部職員	村上 加奈	第12回 日本薬剤師レジデントフォーラムにて発表予定(2023年3月5日) 糖尿病教育入院において、「インスリン注射・低血糖について」の講義後にクイズを導入したが、患者の知識習得や理解度を確認する目的として妥当であるかを検証するため、アンケートを行いその結果とクイズの見直し検討について報告する。
2022 - 21	2022/9/16	迅速審査	医学研究	Liquid biopsyを用いたメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の診断及び病態予測の検討(多施設共同研究)	リウマチ科部長	吉原 良祐	メトトレキサート使用中のリウマチ患者にリンパ節腫大を認めた場合、リンパ増殖性疾患か反応性リンパ節腫大の診断や、リンパ増殖性疾患であったとしても予後予測を事前に確定することは現時点では困難であり、それら病態予測法を確立するため共同研究として行う。
2022 - 22	2022/9/16	迅速審査	医学研究	COVID-19拠点病院全職員を対象としたメンタルヘルス調査 -2年にわたる調査で見えてきたこと-	救命救急センター長	佐野 秀	日本集中治療医学会学術集會にて発表予定(2023年3月2日～4日) 当院は、兵庫県新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拠点病院として県内のCOVID-19の診療を行ってきたが、全職員を対象にしたメンタルヘルス調査を実施し明らかとなった結果を報告して、メンタルヘルス対応の一助とする。
2022 - 23	2022/9/30	迅速審査	医学研究	大豆アレルギーの抗原に関する研究	皮膚科部長	足立 厚子	個々の症例において、病態を正確に把握し、エビデンスに基づいて食物アレルギー患者のQOLを医療面・生活面から改善していくことを目的とし、患者血清中のIgE抗体をプローブとして、食品成分中のIgE結合性成分を検索・同定し、その分子構造・タンパク質化学的性質を解明する。
2022 - 24	2022/9/30	迅速審査	医療行為	aHUS関連遺伝子の測定	リウマチ科医長	天野 典彦	非典型溶血性尿毒症症候群(aHUS)と診断された患者にエクリズマブ(ソリリス)を投与している。先天性aHUSならソリリスの終生投与が必要であるが、先天性かどうかaHUS関連遺伝子の有無で決定される。遺伝子測定の必要性を本人、家族に説明し同意が得られたので、公益財団法人かずさDNA研究所に測定を依頼する。

審査案件の概要(令和4年度(2022.4月～2023.3月))

※学会発表日程については、申請時の予定

受付番号	承認日	審査方法	区分	申請事項	申請者		概 要
					職	氏名	
2022 - 25	2022/9/30	迅速審査	医学研究	非アルコール性脂肪肝患者の専門医紹介に至るまでの経緯と一次スクリーニングの問題点	副院長兼消化器内科部長	尹 聖哲	日本消化器病学会総会にて発表予定(2023年4月6日) 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)は、かかりつけ医から消化器専門医へ紹介された時点で繊維化がかなり進展しているケースが多い。その原因を明らかにするために、患者背景と紹介に至るまでの経緯について後ろ向きに検討し報告する。
2022 - 26	2022/11/22	迅速審査	医学研究	糖尿病既往新規株COVID-19における死亡寄与因子の検討	糖尿病・内分泌内科専攻医	大西 佑弥	第66回日本糖尿病学会年次学術集会にて発表予定(2023年5月11日～13日) 糖尿病既往新規株COVID-19患者を生存群と死亡群に分け、年齢・BMI・血清アルブミン値・随時血糖・HbA1cを解析、死亡因子を検討し報告する。
2022 - 27	2022/12/5	迅速審査	医学研究	新型コロナウイルスSARS-CoV-2感染症(COVID-19)患者を対象とした血清中亜鉛調査	糖尿病・内分泌内科部長	飯田 啓二	SARS-CoV-2患者の血液を用いて血清中亜鉛、セレン、銅濃度の推移を測定し、重症度、入院日数、感染後後遺症との関連を神戸大学との共同研究として調査する。
2022 - 28	2022/12/5	迅速審査	医学研究	日本脆弱性骨折ネットワーク(FFNJ)レジストリ登録、データベース登録への参加、協力について	整形外科部長	青木 謙二	国際的な組織である脆弱性骨折ネットワークFragility fracture network(FFN-J)において国際比較を念頭にした日本の大腿骨近位部骨折データベースを作成して、病院間、地域性、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討するプロジェクトに参画する。
2022 - 29	2022/12/5	迅速審査	医学研究	血液透析患者の皮膚掻痒症に対する洗浄型保湿剤を用いたスキンケア効果の検証ー皮膚掻痒症とかゆみによるストレス指数の関連についてー	看護師長	大條 さおり	血液透析患者の皮膚掻痒症に対して、洗浄型保湿剤による皮脂量の増加により乾燥の予防やかゆみの軽減効果が得られるかを検証する。さらにスキンケア日誌により、経時的な皮膚状態の自覚程度と患者の認識の変化について調査する。
2022 - 30	2022/12/12	迅速審査	医学研究	COVID-19感染者検出を目的としたAI画像診断サポートツールの外的検証(追加調査活動)	循環器内科部長	岩田 幸代	当院の倫理委員会(2020-4)で承認済みの「COVID-19感染者検出を目的としたAI画像診断サポートツール検査特性確認試験」において準備したデータについて、PMDAの承認条件である「製造販売後に性能及び有効性を評価可能な試験を実施すること」に対応するため追加調査活動を実施する。
2022 - 31	2022/12/27	迅速審査	医学研究	「免疫賦活作用を有する新規分子標的治療後のB型肝炎ウイルス再活性化に関する実態調査(固形腫瘍)」全国の多施設による共同研究(変更申請)	消化器内科部長	廣畑 成也	当院の倫理委員会(2021-56)で承認済みである、全国の多施設による共同研究について、HP公開用レター共同研究機関一覧、一括審査機関の研修者変更があったことにより、実施計画書の一部変更があったため変更申請を行う。
2022 - 32	2023/1/17	迅速審査	医学研究	神戸女子大学大学院看護学研究科・博士後課程奥井早月氏が実施する看護研究「多職種連携実践における看護職のCoordinasion技術の解明」への研究協力	看護師	正井 静香	「患者の課題に対して各医療従事者はどのように考えて実践しているのか、その中で慢性疾患看護専門看護師はどのような働きをしているのか」について、臨床現場の具体的な相互作用や医療従事者や患者の考え方や言動から、多職種連携を促進するCoordinasionという看護の技術を明らかにする。
2022 - 33	2023/1/17	迅速審査	医学研究	当院における腸閉塞に対する腹腔鏡手術または開腹手術の選択についての検討	外科・消化器外科医長	宮永 洋人	第78回日本消化器外科学会総会にて発表予定(2023年7月12日～14日) 2019年から2022年までの42例を対象に後方視的な解析を行なった症例報告で、腸閉塞の原因や腹腔鏡手術と開腹手術を行ったそれぞれの群において、手術時間や術中出血量、術後入院日数などの結果に対し検討を加え、腹腔鏡手術の有効性や利点、欠点を検出し、腹腔鏡手術または開腹手術を選択するための一つの指標として提示し報告する。
2022 - 34	2023/1/4	委員長評価	医療行為	消化管出血に対するイミペネム・シラスタチンを用いた経カテーテル動脈塞栓術	放射線科・IVR科部長	伊崎 健太	現在、S状結腸憩室出血にて救急救命科リウマチ科ICU入院中の患者について、1月4日に大量下血があった。同日中に血管造影施行が予定されている。イミペネム・シラスタチン(IPM/CS)は本来抗生剤であるが、消化管出血に対する動脈塞栓術の有用性や安全性が示されており、当該患者においてマイクロコイルやゼラチンスポンジ、ヒストアクリルなどを用いた選択的塞栓が困難な場合のIPM/CSの使用について承認いただきたい。
2022 - 35	2023/1/17	迅速審査	医学研究	ヒドロモルフォン塩酸塩(ナルサス錠)の副作用に関する神戸薬科大学総合教育研究センターとの共同研究	薬剤部職員	藤尾 実穂	診療録を用いた後方視的研究により、ヒドロモルフォン塩酸塩とオキシコドン塩酸塩の副作用についての比較を行う。便秘については緩下剤の種類、用量、便秘の改善状態を比較し、他の副作用についても頻度や程度について比較を行うことで、臨床上のヒドロモルフォン塩酸塩の優位性について検討を行う。
2022 - 36	2023/1/20	迅速審査	医学研究	大腿骨転子下骨折術後経過における骨癒合不全のリスク因子の検討	整形外科医長	高原 俊介	第140回中部日本整形外科災害外科学会にて発表予定(2023年4月7～8日) 大腿骨転子下骨折はしばしば治療に難渋し、遷延癒合や偽関節に至る症例が散見される。髓内釘を用いて治療した大腿骨転子下骨折術後経過における骨癒合不全のリスク因子を検討し報告する。

審査案件の概要(令和4年度(2022.4月～2023.3月))

※学会発表日程については、申請時の予定

受付番号	承認日	審査方法	区分	申請事項	申請者		概 要
					職	氏名	
2022 - 37	2023/1/20	迅速審査	医学研究	持続局所抗菌薬灌流 (CLAP) は骨折関連感染症の内固定材料の温存に寄与する	整形外科医長	高原 俊介	第140回中部日本整形外科災害外科学会にて発表予定(2023年4月7～8日) 骨折関連感染症 (FRI) の治療はしばしば難渋し、骨癒合前であっても内固定材料の抜釘を余儀なくされる症例が散見される。持続局所抗菌薬灌流 (CLAP) が内固定材料の温存に寄与するかどうか調査し報告する。
2022 - 38	2023/1/20	迅速審査	医学研究	Dual energy CTを用いた下肢長管骨不顕性骨折検出の小経験	整形外科医長	高原 俊介	第17回CAOS研究会にて発表予定(2023年3月2～3日) 下肢長管骨の不顕性骨折の診断にはMRIが頻用されているが、迅速な検査が困難な状況がある。近年、dual energy CT (DECT) が不顕性骨折の診断に寄与することが報告されており、DECTによる検出が可能であった下肢長管骨不顕性骨折の小経験を報告する。
2022 - 39	2023/1/20	迅速審査	医学研究	当科におけるCOVID-19罹患中の骨折患者に対する手術経験	整形外科医長	高原 俊介	第25回救急整形外傷シンポジウムにて発表予定(2023年3月17～18日) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行は未だ遷延しており、骨折手術を必要とするCOVID-19患者が散見される。しかしながら骨折部位や患者背景、ウイルス株の特性は多様であり、未だ治療戦略は確立されていない。パンデミック初期から現在までに手術を施行したCOVID-19罹患中の骨折患者の経過を報告する。
2022 - 40	2023/1/20	迅速審査	医学研究	広範囲に骨盤の露出を伴ったFaringer zone I 骨盤開放骨折の1例	整形外科医長	高原 俊介	第25回救急整形外傷シンポジウムにて発表予定(2023年3月17～18日) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行は未だ遷延しており、骨折手術を必要とするCOVID-19患者が散見される。しかしながら骨折部位や患者背景、ウイルス株の特性は多様であり、未だ治療戦略は確立されていない。パンデミック初期から現在までに手術を施行したCOVID-19罹患中の骨折患者の経過を報告する。
2022 - 41	2023/1/20	迅速審査	医学研究	持続局所抗菌薬灌流 (CLAP) を用いたは骨折関連感染症の治療における有効性・安全性の検討ー多施設研究ー	整形外科医長	高原 俊介	第96回日本整形外科学会にて発表予定(2023年5月11～14日) 骨折関連感染症 (FRI) の治療において、高濃度抗菌薬を骨・軟部組織内で持続灌流させる持続局所抗菌薬灌流療法 (CLAP) を用いてFRIを治療した症例を多施設で後ろ向きに検討し、有効性と安全性を評価し報告する。
2022 - 42	2023/1/20	迅速審査	医学研究	新型コロナウイルス感染症罹患中の骨折患者に対する手術治療	整形外科医長	高原 俊介	第96回日本整形外科学会にて発表予定(2023年5月11～14日) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行は未だ遷延しており、骨折手術を必要とするCOVID-19患者が散見される。しかしながら骨折部位や患者背景、ウイルス株の特性は多様であり、未だ治療戦略は確立されていない。パンデミック初期から現在までに手術を施行したCOVID-19罹患中の骨折患者の経過を報告する。
2022 - 43	2023/1/20	迅速審査	医学研究	関節リウマチ患者における骨折関連因子の検討	整形外科医長	高原 俊介	第67回日本リウマチ学会にて発表予定(2023年4月24～26日) 関節リウマチ患者 (RA患者) は骨折リスクが高い事が知られているが、RA患者における骨折関連因子については不明な点が多い。当院におけるRA患者の骨折関連因子を調査し報告する。
2022 - 44	2023/1/20	迅速審査	医学研究	AI(人工知能)による外傷画像診断の多施設共同研究	整形外科医長	高原 俊介	令和2年6月10日付けで承認(2020-16)された研究課題について、研究課題名等の変更および共同研究施設の追加等に伴う修正を行う。
2022 - 45	2023/1/20	迅速審査	医学研究	骨軟部組織感染症の治療に関する多施設共同研究	整形外科医長	高原 俊介	令和4年3月11日付けで承認(2021-79)された研究課題について、共同研究施設の追加等に伴う修正を行う。
2022 - 46	2023/1/27	迅速審査	医学研究	患者ファーストの装具選択ー初期装具選択の基礎と退院後イメージの掴み方ー	看護師	仲上 直子	ホリスターストーマケアセミナー2023にて発表予定(2023年2月4日) 関西地区の看護師を対象に行う、ストーマケアに関する知識・技術向上を目的として、当院でストーマケアを実践した症例の患者のストーマ部・腹壁の局所写真、症例の術式等を掲載のうえ報告を行う。
2022 - 47	2023/2/10	迅速審査	医学研究	入院患者を対象とした電子お薬手帳に関するアンケート調査	薬剤部次長	安達 嘉織	電子お薬手帳の普及促進対策の一環として、入院患者を対象にお薬手帳の利用状況と使用感のアンケート調査を実施することで、電子お薬手帳の普及への課題を明らかにする。なお、兵庫県内の医療機関が兵庫県病院薬剤師会から委託を受け、多機関共同研究として実施する。
2022 - 48	2023/1/20	迅速審査	医療行為	急性肝不全に対するN-アセチルシステイン投与	救急科医長	田原 慎太郎	非アセトアミノフェン中毒性の急性肝不全におけるN-アセチルシステインの投与に関して有効性が報告されており、副作用や有毒事象に関しては同薬を投与することでそれらが増大するという報告はないことから、適外使用となるが患者の全身状態改善のために投与を行う。

審査案件の概要（令和4年度（2022.4月～2023.3月））

※学会発表日程については、申請時の予定

受付番号	承認日	審査方法	区分	申請事項	申請者		概 要
					職	氏名	
2022 - 49	2023/1/20	迅速審査	医学研究	日本外傷データベースへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究	救命救急センター長	佐野 秀	従来より行っている日本外傷データベースへの外傷患者登録の主管施設が防衛医科大学校から佐賀大学医学部に変更になることに対して、継続して同データベースへの登録を行うことの承認をいただきたい。